

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 3 年 6 月 7 日

(宛先) 岡 崎 市 長

提出者

住 所 愛知県岡崎市東牧内町甲田45番地
氏 名 栄屋乳業株式会社
代表取締役 野田篤文
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0564-33-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	矢作工場
事業場の所在地	愛知県岡崎市東牧内町甲田45番地
計画期間	2021 年度 (2021 年 4月～ 2022 年 3月末)

当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	0914：乳製品製造業
② 事業の規模	生産金額：100億4769万円
③ 従業員数	411人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥：処理業者に委託し、肥料として再利用する。 動植物残渣：自社にて中間処理（焼却）、又は処理業者に委託（焼却）。 廃プラスチック類：処理業者に委託し破碎・圧縮・手作業分別後再利用する。 また、一部は熱源とする。 廃油：処理業者に委託し再生油として再利用する。 ガラスくず、陶磁器くず：中間処理業者に委託し分別・熔融などで再生利用、一部埋立処分する。 ガレキ：処理業者に委託し原材料として再利用、一部埋立処分する。 混合物：処理業者に委託し分別後、原材料再利用、一部埋立処分する。 蛍光管：中間処理業者に委託し破碎選別後、最終処分業者へ。 電池：中間処理業者に委託し破碎選別後、最終処分業者へ。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 矢作工場、総括産業廃棄物処理責任者 (工場長) 副総括産業廃棄物処理責任者 (製造部長) 産業廃棄物処理 現場管理責任者 (工務課責任者) 産業廃棄物処理 施設技術担当者 (工務課作業員)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (令和 2 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残渣
	排 出 量	25,061 t	1,436 t
	(これまでに実施した取組) 汚泥：排水処理場の高濃度汚泥処理による脱水機運転時間の削減による汚泥発生量の抑制。 排水量削減のための呼びかけ・啓蒙活動。 動植物残渣：工場ラインの商品ロスの削減取り組み (トラブル削減、工程改善)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残渣
	排 出 量	24,309 t	1,393 t
	(今後実施する予定の取組) 汚泥：汚泥高濃度処理の継続による脱水機の運転時間削減。 排水処理場への負荷を下げる取り組みを継続。 動植物残渣：商品ロス削減の取り組みを継続。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥：特になし 動植物残渣：特になし		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥：特になし 動植物残渣：特になし		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<p>(管理体制図)</p> <p>矢作工場、総括産業廃棄物処理責任者（工場長）</p> <p>┆</p> <p>副総括産業廃棄物処理責任者（製造部長）</p> <p>┆</p> <p>産業廃棄物処理 現場管理責任者（工務課責任者）</p> <p>┆</p> <p>産業廃棄物処理 施設技術担当者（工務課作業員）</p>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	排出量	40 t	12 t
	(これまでに実施した取組) 廃プラスチック類：有価物化の推進→引き取り業者が見つからない。 廃油：動植物油の再資源化の検討→有価物としての引き取り業者が存在せず。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	排出量	39 t	11 t
	(今後実施する予定の取組) 廃プラスチック類：有価物として引き取りが可能な業者を探す。 廃油：動植物油の社内での循環再利用の実施。 有価物として引き取りが可能な業者を探す。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類：ペットボトル容器の分別を実施。 廃油：機械油と動植物油の分別を実施。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類：有価物として引き取りが可能な業者を探す。 廃油：現状と同じ。		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
矢作工場、総括産業廃棄物処理責任者（工場長）			
副総括産業廃棄物処理責任者（製造部長）			
産業廃棄物処理		現場管理責任者（工務課責任者）	
産業廃棄物処理		施設技術担当者（工務課作業員）	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、陶磁器くず	ガレキ類
	排 出 量	2 t	21 t
	(これまでに実施した取組)		
ガラスくず、陶磁器くず：特になし ガレキ類：特になし			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、陶磁器くず	ガレキ類
	排 出 量	2 t	20 t
	(今後実施する予定の取組)		
ガラスくず、陶磁器くず：特になし ガレキ類：特になし			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ガラスくず、陶磁器くず：特になし ガレキ類：特になし		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ガラスくず、陶磁器くず：特になし ガレキ類：特になし		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
矢作工場、総括産業廃棄物処理責任者（工場長）			
副総括産業廃棄物処理責任者（製造部長）			
産業廃棄物処理		現場管理責任者（工務課責任者）	
産業廃棄物処理		施設技術担当者（工務課作業員）	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物	蛍光管
	排 出 量	21 t	0.3 t
	（これまでに実施した取組） 混合物：金属と廃プラスチックをできるだけ分別を行う。 蛍光管：蛍光灯のLED化の継続。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物	蛍光管
	排 出 量	20 t	0.3 t
	（今後実施する予定の取組） 混合物：金属と廃プラスチックの分別を継続し、有価物（金属屑）にする。 蛍光管：LED化の継続のため一時的に排出量が増加する可能性がある。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 混合物：廃棄物の分解・分別指導 蛍光管：特になし		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 混合物：上記指導の強化 蛍光管：特になし		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
矢作工場、総括産業廃棄物処理責任者 (工場長)			
副総括産業廃棄物処理責任者 (製造部長)			
産業廃棄物処理 現場管理責任者 (工務課責任者)			
産業廃棄物処理 施設技術担当者 (工務課作業員)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (令和 2 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	電池	
	排 出 量	0.1 t	t
	(これまでに実施した取組)		
電池：特になし			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	電池	
	排 出 量	0.1 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
電池：特になし			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
電池：特になし			
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
電池：特になし			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残渣
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	なし	なし
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残渣
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	なし	なし
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残渣
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	なし	なし
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	23,201 t	417 t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残渣
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	なし	なし
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	22,505 t	405 t
(今後実施する予定の取組)			

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	なし	なし
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	なし	なし
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	なし	なし
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	なし	なし
(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	なし	なし
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	なし	なし
(今後実施する予定の取組)			

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、陶磁器くず	ガレキ類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	なし	なし
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、陶磁器くず	ガレキ類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	なし	なし
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、陶磁器くず	ガレキ類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	なし	なし
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	なし	なし
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、陶磁器くず	ガレキ類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	なし	なし
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	なし	なし
	(今後実施する予定の取組)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物	蛍光管
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	なし	なし
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物	蛍光管
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	なし	なし
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物	蛍光管
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	なし	なし
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	なし	なし
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物	蛍光管
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	なし	なし
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	なし	なし
(今後実施する予定の取組)			

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	電池	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	なし	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	電池	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	なし	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	電池	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	なし	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	なし	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	電池	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	なし	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	なし	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残渣
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	なし	なし
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残渣
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	なし	なし
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残渣
	全処理委託量	1,860 t	1,019 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	22 t
	再生利用業者への処理委託量	1,860 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
適正な処理・管理が行われているかどうか、現地視察の継続。 処理委託業者へ優良認定業者の取得を促す。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	なし	なし
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	なし	なし
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	全処理委託量	40 t	12 t
	優良認定処理業者への処理委託量	40 t	12 t
	再生利用業者への処理委託量	40 t	12 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
適正な処理が行われているかどうか現地視察の継続。 廃プラスチック類・廃油処理委託業者の優良認定継続の依頼。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、陶磁器くず	ガレキ類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	なし	なし
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、陶磁器くず	ガレキ類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	なし	なし
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、陶磁器くず	ガレキ類
	全処理委託量	2 t	21 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2 t	21 t
	再生利用業者への処理委託量	2 t	21 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
適正な処理が行われているかどうか現地視察の継続。 ガラス・陶磁器およびガレキ類処理委託業者の優良認定継続の依頼。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物	蛍光管
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	なし	なし
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物	蛍光管
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	なし	なし
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物	蛍光管
	全処理委託量	21 t	0.3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	21 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	21 t	0.3 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
適正な処理が行われているかどうか現地視察の継続。 処理委託業者へ優良認定業者の取得を促す。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	電池	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	なし	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	電池	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	なし	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	電池	
	全処理委託量	0.1 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.1 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
適正な処理が行われているかどうか現地視察の継続。 処理委託業者へ優良認定業者の取得を促す。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残渣
	全処理委託量	1,804 t	967 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	22 t
	再生利用業者への 処理委託量	1,804 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 処理委託先の適正処理確認の継続。		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	全処理委託量	39 t	11 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	39 t	11 t
	再生利用業者への 処理委託量	39 t	11 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 処理委託先の適正処理確認の継続。		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、陶磁器くず	ガレキ類
	全処理委託量	2 t	20 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	2 t	20 t
	再生利用業者への 処理委託量	2 t	20 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 処理委託先の適正処理確認の継続。		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物	蛍光管
	全処理委託量	20 t	0.3 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	20 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	20 t	0.3 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>処理委託先の適正処理確認の継続。 蛍光管の処理委託業者へ優良認定事業所の取得を促す。</p>		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	電池	
	全処理委託量	0.1 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0.1 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>処理委託先の適正処理確認の継続。 電池の処理委託業者へ優良認定事業所の取得を促す。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

